

# 令和元年度ウエスコ財団優秀研究者賞

第4回目となる令和元年度ウエスコ財団優秀研究者賞は、以下の2名に決定しました。

① 高石 和人 （岡山大学大学院 自然科学研究科 准教授）

【研究題目】 「キラルナフトキノン類の合成と光学特性スイッチング」

：平成29年度研究活動費助成事業

高石和人氏は、斬新で有用な有機CPL色素の開発について研究を行っています。その取り組みは、CPL色素の発現機構の解明や色素の分子設計に役立つ情報発信などで、世界に先駆けたものとなっています。そして、これらの研究成果は国際的に評価の高い学術誌に論文掲載されるなど、国内外で大きく注目され、高く評価されています。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

② 佐藤 丈晴 （岡山理科大学 生物地球学部 准教授）

【研究題目】 「防災気象情報基準を備えた雨量計システムの開発」

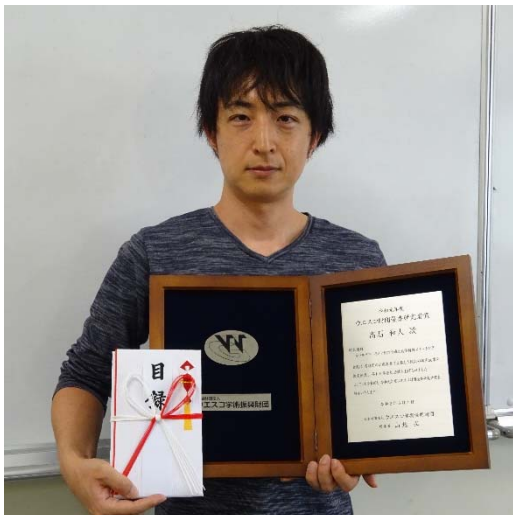
：平成30年度研究活動費助成事業

佐藤丈晴氏は、地上雨量計データを用いて気象予報と同等精度の基準設定方法について研究を行っています。そして、研究の中で制作した低コストで小規模な雨量計システムを実用化し、自治会単位で降雨量を的確に観測・評価して、住民避難につながるということが可能になっています。このような社会的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

令和元年度ウエスコ財団優秀研究者賞の表彰式と受賞者講演会は、令和2年6月4日にANAクラウンプラザホテル岡山で行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、中止としました。

高石和人氏と佐藤丈晴氏へは、当財団より表彰状とともに副賞（研究奨励金30万円）をお贈りしました。

令和2年6月4日に、財団事務局が各受賞者の研究室にお伺いし、表彰状と副賞の目録をお届けしました。



高石 和人 氏



佐藤 丈晴 氏